

## 令和 2 年度 花育推進事業の取り組みについて

新型コロナウイルス感染症の影響により、花の需要の低迷、イベントの自粛など、思うような取り組みができていないものの、昨年各委員の皆さまからいただいたご意見を活かした取り組みを進めた。

### 1 第 2 次新潟市花育推進計画 数値指標の取り組み

#### (1) 情報紙の発行部数

花育通信を年 3 回、計 6,000 部発行予定 (4,000 部発行済み)

##### <花育委員のご意見>

- 参考資料「花育ってなんだろう」の内容が抽象的でわからない。例えば花育マスター、花育の日協力店が交代で花育通信・HP などに花育コラムを連載する (謝金不要) PR としての位置づけに納得される方に。
- 協力店を市報や花育通信、その他メディア等で紹介、PR し、話題や売り上げ UP につながるような方法を作るのはいかがでしょうか。



花育通信 Vol. 33 に花育マスターの土沼氏による花育コラムを掲載



花育通信 Vol. 36 に街のお花屋さん (「花育の日」協力店) の紹介

#### (2) 花育関連講座の受講者数

4・5月は緊急事態宣言が発令されたため、園芸講座及び花育ミニ体験の実施を中止した。12月までの実績は、園芸講座は46回935人(6月～12月)、花育ミニ体験は15回434人(7月～12月)である。

展示会は5月末から再開し、13回行った。(5～12月)

### (3) 「花育の日」の普及推進

#### <春の取り組み内容>

- ・市内小売店での「花育の日」PR  
のぼり旗の掲揚／花の種プレゼント／店舗独自の特典やサービスの実施  
実施場所 市内「花育の日」協力店 ※25社38店舗参加



#### <小売店アンケート結果>

アンケート回答数・・・12店舗/38店舗中

◎次回もこのような活動に参加したいか

- ・参加したい・・・11店
- ・どちらともいえない・・・1店
- ・参加したくない・・・0店

- ・4月19日（日）に開催予定だった食育・花育センターでの「カイワレ大根水耕栽培キット作り体験」は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止。

#### <秋の取り組み内容>

- ・10月25日（日）に食育・花育センターにおいて、「チューリップクイズとチューリップ球根植えの体験」を実施し、51組115人が参加した。例年の球根植えだけの体験とは違い、花育マスターよりチューリップクイズを最初にやってもらったことで、チューリップへの関心度が高まったようで、体験後に大人からの質問が多かった。（球根栽培に成功したのは秋葉区だった話など）。



#### (4) 団体プログラムの実施

いくとぴあ食花3施設が連携した団体プログラムを市内外の小学校や保育園・幼稚園等を対象に実施

4・5月は緊急事態宣言が発令されたため、団体プログラムの実施を中止した。

6月から12月までの実績は41団体1322人であった。

団体の内訳は、小学校28校、幼稚園・保育園7園、特別支援学校・学級4、その他2団体であった。

##### <花育委員のご意見>

- ・食育は学校給食での取り組みもあり、認知度が高いが、花育も市・学校団体などが一緒に動かないと認知度はあがらないと思う。
- ・とにかく、続ける以外に方法はないと思います。あの有名なアップル社の iPhone でも認知され利用されるまでに7年の時が必要でした。
  - 幼稚園、小学校・中学校の義務教育で必須科目にしよう。



団体プログラムに新たに「出張プログラム」を開発し、市内の幼稚園・保育園・こども園で実施

#### (5) 新潟の花や緑について生産者や流通の現場で学ぶ講座等の受講者数

新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。また、チューリップ球根商業生産発祥100周年記念の圃場において自由散策できる対応とした。



#### (6) 多面的機能支払交付金事業を活用した植栽による景観形成等への取り組み 別添「多面的機能支払交付金活動事例集」のとおり。

## 2 その他の取り組み

### (1) 花育俳句

昨年に引き続き、「花育」を知っていただく・感じていただく一環として「花や緑に関する俳句」を①小学生の部、②一般の部で募集した。

#### <花育委員のご意見>

- ・花そのものだけでなく、花にまつわるエピソードを発信することで関心をもつ人の幅が広がるかもしれません



全国から 778 人, 1,130 句の応募があった

### (2) フルフルフラワーキャンペーン

新型コロナウイルス禍で式典、祝宴、イベント等の開催自粛や中止、緊急事態宣言で小売店等の臨時休業も広がり、全国的に花き需要が著しく低迷したため、本市と関係機関（JA グループ、卸、小売店等）が連携し、花きの家庭内消費や業務需要を喚起することで、市内産花きの消費拡大を図るとともに、産地や花業界の事業継続を支援する。

#### ① 割引券を活用した市内産花きの需要・消費拡大支援

市内生花店等（本事業の参加希望店）において 1,000 円以上の市内産花きを購入した市民に対し、500 円相当の割引（最大半額割引）を実施

#### <花育委員のご意見>

- ・「花育の日」の認知度・希望する企画等について、市民向けのアンケートを実施してはどうか？年齢別・性別・職業別等で認知度等の違いを分析し、認知度の低い層に向けて検討を行うべきだと思う。これらのデータの推移も調査する必要がある。
- ・基本的にアンケート等により花屋（小売流通業）の意見を聞くべきだと思う。その上で均一の企画ではなく、各花店独自の企画を尊重した方が良いと思う。共通なのはのぼり旗の掲揚程度ではないか。



市内の 68 店舗が参加 (R3. 1. 15 現在)



利用者は参加店で割引券を入手し、氏名・居住地・性別・年齢を記載して利用

## ②市内公共施設等での花展示

区役所等を中心とした公共施設において、市内産花きの展示・装飾を実施し、花きに対する消費マインドを喚起

<花育委員のご意見>

- ・引き続き、NEXT 2 1 や古町、万代などのオープンスペースでの花育の PR 活動





ほんぽーと



新潟駅



区役所

## ③広告宣伝

テレビ局等とタイアップし、市内産花きの特徴や購入方法、おすすめの飾り方や贈り物としての利用などを宣伝

<花育委員のご意見>

- ・新聞やテレビなどにパブリシティとして取り上げてもらう。すでに取り組んでいるのかもしれませんが、さらに努力していただきたい。お金のかからない情報発信として有効だと思いますが。
- ・とにかく、続ける以外に方法はないと思います。あの有名なアップル社の i phone でも認知され利用されるまでに7年の時が必要でした。
  - 課外学習での関わり、地元のラジオ・テレビでのプロモーションを利用する。
- ・テレビまたは SNS での情報発信が若い世代には一番とどくように思える








	「なじラテ。」伝言版
	BSN ラジオ「四畳半スタジオ」
	「スマイルスタジアム」
	「夕方ワイド新潟一番」
	「まるどりっ！サブリ」

チューリップを中心とした新潟市産の花のプロモーション

### 3 関係団体と連携した取り組み

#### (1) にいがた花推進委員会と連携した「新潟の花を贈ろう」キャンペーン

	タイトル	日程	会場	内容
1	母の日 「お母さんの好きな花を贈ろう」	新型コロナウイルス感染症の影響により中止		
2	にいがたユリフェア 「大切な人に新潟産のユリを贈ろう」	7月12日(金)～ 15日(月祝)	NEXT21	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユリの装飾タワー展示</li> <li>・産地・品種紹介</li> <li>・花のある暮らしの提案</li> </ul>
3	いい夫婦の日 「大切な人に新潟産の花を贈ろう」	11月16日(月) ～22日(日)	市内郵便局 第四銀行・北越銀行 新潟駅「MOYORe:」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市産の花を使ったメイン装飾展示</li> <li>・市内花店のアレンジメントギフト見本展示</li> <li>・花のある暮らし提案展示</li> <li>・市内産アザレアの展示</li> </ul>
4	フラワーバレンタイン 「男性から女性へ花を贈る2月14日」	2月1日(月) ～5日(金)	NEXT21	・チューリップの品種紹介展示
		2月9日(火)～ 14日(日)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・チューリップなどを使った花のオブジェ</li> <li>・花のギフト見本展示</li> <li>・花のある暮らし提案展示 など</li> </ul>
		2月3日(水)～ 14日(日)	万代シテイ ビルボードプレイス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・流木と花を使った高さ4mのアート作品の展示</li> <li>・フォトスポットの設置</li> <li>・チューリップを使ったワークショップの開催</li> <li>・SNSプレゼント企画 など</li> </ul>
		2月6日(土)・ 7日(日)	新潟駅 「TABI BAR&CAFE」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チューリップを使ったオブジェの展示</li> <li>・東京駅人気お土産と切り花のセット販売 など</li> </ul>

(2) にいがた花絵プロジェクト実行委員会と連携した花絵制作

令和2年4月29日(水・祝)に実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。

<花育委員のご意見>

- ・無関心層はそもそも生花店や食花センターには足は運ばない。普及活動は不特定多数が集まるイベント会場などの代替案を検討する。



12月19日(土)・20日(日)にいがた花絵プロジェクト実行委員会による  
万代シティでのチューリップ販売(35種類, 1,700本が完売)

## 令和 2 年度 花育推進事業の取り組みについて

新型コロナウイルス感染症の影響により、花の需要の低迷、イベントの自粛など、思うような取り組みができていないものの、昨年各委員の皆さまからいただいたご意見を活かした取り組みを進めた。

### 1 第 2 次新潟市花育推進計画 数値指標の取り組み

#### (1) 情報紙の発行部数

花育通信を年 3 回、計 6,000 部発行予定 (4,000 部発行済み)

##### <花育委員のご意見>

- 参考資料「花育ってなんだろう」の内容が抽象的でわからない。例えば花育マスター、花育の日協力店が交代で花育通信・HP などに花育コラムを連載する (謝金不要) PR としての位置づけに納得される方に。
- 協力店を市報や花育通信、その他メディア等で紹介、PR し、話題や売り上げ UP につながるような方法を作るのはいかがでしょうか。



花育通信 Vol. 33 に花育マスターの  
土沼氏による花育コラムを掲載



花育通信 Vol. 36 に  
街のお花屋さん (「花育の日」協力店) の紹介

#### (2) 花育関連講座の受講者数

4・5月は緊急事態宣言が発令されたため、園芸講座及び花育ミニ体験の実施を中止した。12月までの実績は、園芸講座は 46 回 935 人 (6 月～12 月)、花育ミニ体験は 15 回 434 人 (7 月～12 月) である。  
展示会は 5 月末から再開し、13 回行った。(5～12 月)

### (3) 「花育の日」の普及推進

#### <春の取り組み内容>

- ・市内小売店での「花育の日」PR  
のぼり旗の掲揚／花の種プレゼント／店舗独自の特典やサービスの実施  
実施場所 市内「花育の日」協力店 ※25社38店舗参加



#### <小売店アンケート結果>

アンケート回答数・・・12店舗/38店舗中

◎次回もこのような活動に参加したいか

- ・参加したい・・・11店
- ・どちらともいえない・・・1店
- ・参加したくない・・・0店

- ・4月19日（日）に開催予定だった食育・花育センターでの「カイワレ大根水耕栽培キット作り体験」は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止。

#### <秋の取り組み内容>

- ・10月25日（日）に食育・花育センターにおいて、「チューリップクイズとチューリップ球根植えの体験」を実施し、51組115人が参加した。例年の球根植えだけの体験とは違い、花育マスターよりチューリップクイズを最初にやってもらったことで、チューリップへの関心度が高まったようで、体験後に大人からの質問が多かった。（球根栽培に成功したのは秋葉区だった話など）。



#### (4) 団体プログラムの実施

いくとぴあ食花3施設が連携した団体プログラムを市内外の小学校や保育園・幼稚園等を対象に実施

4・5月は緊急事態宣言が発令されたため、団体プログラムの実施を中止した。

6月から12月までの実績は41団体1322人であった。

団体の内訳は、小学校28校、幼稚園・保育園7園、特別支援学校・学級4、その他2団体であった。

##### <花育委員のご意見>

- ・食育は学校給食での取り組みもあり、認知度が高いが、花育も市・学校団体などが一緒に動かないと認知度はあがらないと思う。
- ・とにかく、続ける以外に方法はないと思います。あの有名なアップル社の iPhone でも認知され利用されるまでに7年の時が必要でした。
  - 幼稚園、小学校・中学校の義務教育で必須科目にしよう。



団体プログラムに新たに「出張プログラム」を開発し、市内の幼稚園・保育園・こども園で実施

#### (5) 新潟の花や緑について生産者や流通の現場で学ぶ講座等の受講者数

新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。また、チューリップ球根商業生産発祥100周年記念の圃場において自由散策できる対応とした。



#### (6) 多面的機能支払交付金事業を活用した植栽による景観形成等への取り組み 別添「多面的機能支払交付金活動事例集」のとおり。

## 2 その他の取り組み

### (1) 花育俳句

昨年に引き続き、「花育」を知っていただく・感じていただく一環として「花や緑に関する俳句」を①小学生の部、②一般の部で募集した。

#### <花育委員のご意見>

- ・花そのものだけでなく、花にまつわるエピソードを発信することで関心をもつ人の幅が広がるかもしれません



全国から 778 人, 1,130 句の応募があった

### (2) フルフルフラワーキャンペーン

新型コロナウイルス禍で式典、祝宴、イベント等の開催自粛や中止、緊急事態宣言で小売店等の臨時休業も広がり、全国的に花き需要が著しく低迷したため、本市と関係機関（JA グループ、卸、小売店等）が連携し、花きの家庭内消費や業務需要を喚起することで、市内産花きの消費拡大を図るとともに、産地や花業界の事業継続を支援する。

#### ① 割引券を活用した市内産花きの需要・消費拡大支援

市内生花店等（本事業の参加希望店）において 1,000 円以上の市内産花きを購入した市民に対し、500 円相当の割引（最大半額割引）を実施

#### <花育委員のご意見>

- ・「花育の日」の認知度・希望する企画等について、市民向けのアンケートを実施してはどうか？年齢別・性別・職業別等で認知度等の違いを分析し、認知度の低い層に向けて検討を行うべきだと思う。これらのデータの推移も調査する必要がある。
- ・基本的にアンケート等により花屋（小売流通業）の意見を聞くべきだと思う。その上で均一の企画ではなく、各花店独自の企画を尊重した方が良いと思う。共通なのはのぼり旗の掲揚程度ではないか。



市内の 68 店舗が参加 (R3. 1. 15 現在)



利用者は参加店で割引券を入手し、氏名・居住地・性別・年齢を記載して利用

## ②市内公共施設等での花展示

区役所等を中心とした公共施設において、市内産花きの展示・装飾を実施し、花きに対する消費マインドを喚起

<花育委員のご意見>

- ・引き続き、NEXT 2 1 や古町、万代などのオープンスペースでの花育の PR 活動





ほんぽーと



新潟駅



区役所

## ③広告宣伝

テレビ局等とタイアップし、市内産花きの特徴や購入方法、おすすめの飾り方や贈り物としての利用などを宣伝

<花育委員のご意見>

- ・新聞やテレビなどにパブリシティとして取り上げてもらう。すでに取り組んでいるのかもしれませんが、さらに努力していただきたい。お金のかからない情報発信として有効だと思いますが。
- ・とにかく、続ける以外に方法はないと思います。あの有名なアップル社の i phone でも認知され利用されるまでに 7 年の時が必要でした。
  - 課外学習での関わり、地元のラジオ・テレビでのプロモーションを利用する。
- ・テレビまたは SNS での情報発信が若い世代には一番とどくように思える









	「なじラテ。」伝言版
	BSN ラジオ「四畳半スタジオ」
	「スマイルスタジアム」
	「夕方ワイド新潟一番」
	「まるどりっ！サブリ」

チューリップを中心とした新潟市産の花のプロモーション

### 3 関係団体と連携した取り組み

#### (1) にいがた花推進委員会と連携した「新潟の花を贈ろう」キャンペーン

	タイトル	日程	会場	内容
1	母の日 「お母さんの好きな花を贈ろう」	新型コロナウイルス感染症の影響により中止		
2	にいがたユリフェア 「大切な人に新潟産のユリを贈ろう」	7月12日(金)～ 15日(月祝)	NEXT21	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユリの装飾タワー展示</li> <li>・産地・品種紹介</li> <li>・花のある暮らしの提案</li> </ul>
3	いい夫婦の日 「大切な人に新潟産の花を贈ろう」	11月16日(月) ～22日(日)	市内郵便局 第四銀行・北越銀行 新潟駅「MOYORe:」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市産の花を使ったメイン装飾展示</li> <li>・市内花店のアレンジメントギフト見本展示</li> <li>・花のある暮らし提案展示</li> <li>・市内産アザレアの展示</li> </ul>
4	フラワーバレンタイン 「男性から女性へ花を贈る2月14日」	2月1日(月) ～5日(金)	NEXT21	・チューリップの品種紹介展示
		2月9日(火)～ 14日(日)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・チューリップなどを使った花のオブジェ</li> <li>・花のギフト見本展示</li> <li>・花のある暮らし提案展示 など</li> </ul>
		2月3日(水)～ 14日(日)	万代シテイ ビルボードプレイス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・流木と花を使った高さ4mのアート作品の展示</li> <li>・フォトスポットの設置</li> <li>・チューリップを使ったワークショップの開催</li> <li>・SNSプレゼント企画 など</li> </ul>
		2月6日(土)・ 7日(日)	新潟駅 「TABI BAR&CAFE」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チューリップを使ったオブジェの展示</li> <li>・東京駅人気お土産と切り花のセット販売 など</li> </ul>

(2) にいがた花絵プロジェクト実行委員会と連携した花絵制作

令和2年4月29日(水・祝)に実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。

<花育委員のご意見>

- ・無関心層はそもそも生花店や食花センターには足は運ばない。普及活動は不特定多数が集まるイベント会場などの代替案を検討する。



12月19日(土)・20日(日)にいがた花絵プロジェクト実行委員会による  
万代シティでのチューリップ販売(35種類, 1,700本が完売)